

ヤマのふもとで、



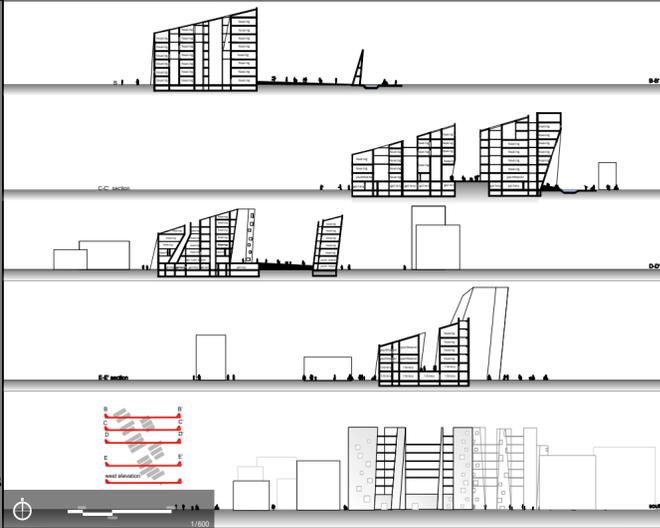
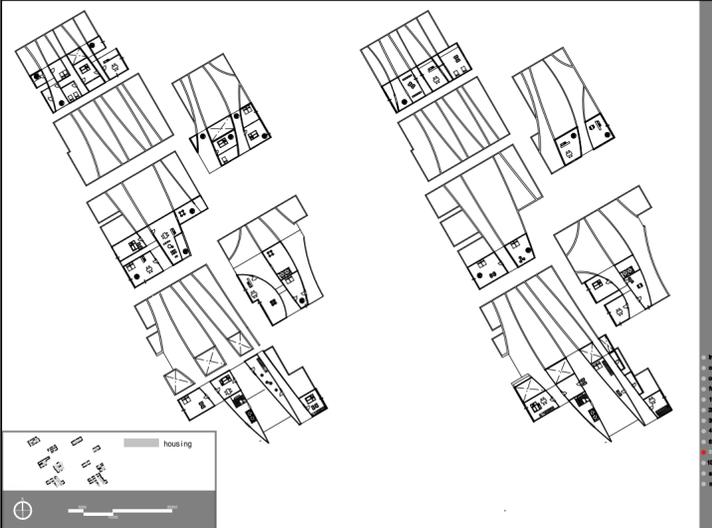
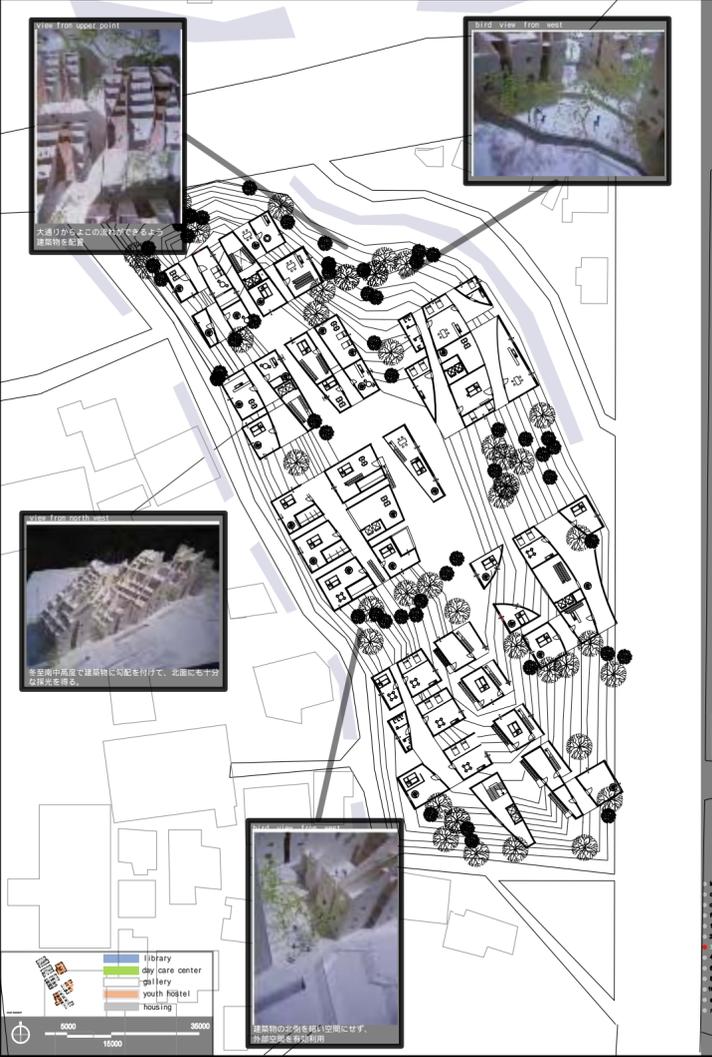
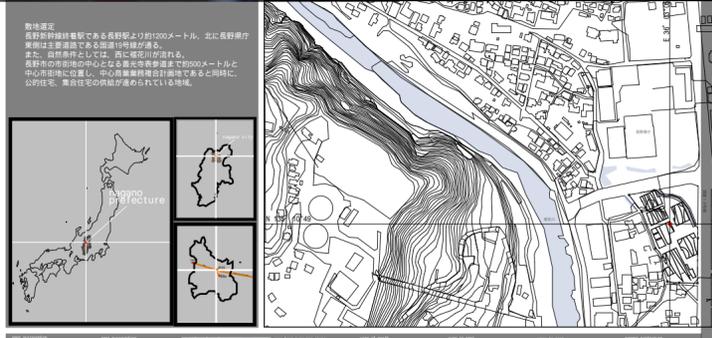
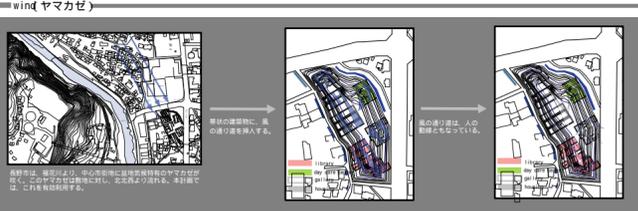
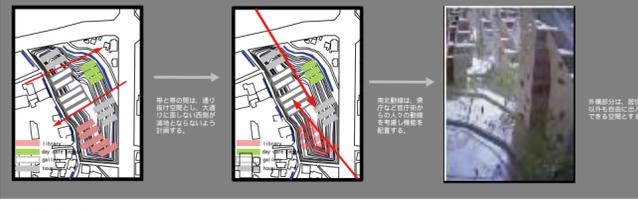
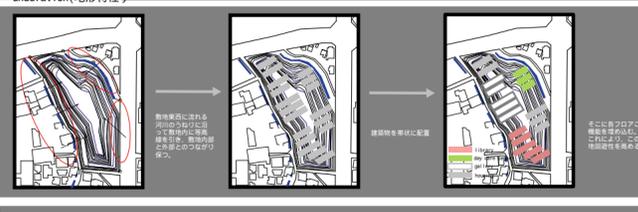
長野市は、高山を山脈に囲まれた  
長野盆地のふもとにある。  
市街地より、数分歩けば  
山々が育んだ豊かな自然が存在する。  
この、生まれた自然環境を建築を通して  
より身近に感じることができないのか？

本計画ではこの点から、  
建築と自然環境を結びキーワードとして、  
サステナビリティに注目した。

人、自然、建築、3者の繋がりを  
サステナビリティという言葉を通じて、  
もう一度、問い直す。

CONCEPT&FUNCTION

サステナビリティの概念を示す断面は、人間周辺環境、空間様、建物環境、街区環境、都市地域環境、広域環境、地球環境と様々なレベルで、自然空間における境界を明確にし、対応する必要がある。都市環境においては、後者の環境特性に、建築環境において、その断面に合った建築ありがけが求められる。



SPECIAL THANKS  
SUZUKA ITOU  
SHINOBU KIKUCHI  
KINOSHITA SHUNJI  
KAWAMOTO YUKA  
SUGIYAMA YOSHITAKA  
HAYATO NAKA  
KOSUKE ITOHARA